ベビーFUNハーネス
ハイバックシート ネオ

保　証　書

保証期間：お買い上げから1年間

※お買い上げ時に、**お客様名・お買い上げ日・販売店名**をご記入ください。
もしくは**お買い上げレシート**を添付してください。
※本保証書は**再発行致しません**ので、紛失しないようにご注意ください。

お買い上げ年月日		年　　月　　日
商品名		ベビーFUNハーネス ハイバックシート ネオ
お客様	ご住所	〒 TEL（　　）　―
	お名前	
販売店	住所	〒 TEL（　　）　―
	販売店名	

企画・輸入元

本社：〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51
TEL：0568-28-5333　FAX：0568-28-5340
www.ca-sansho.co.jp

ベビーFUNハーネス
ハイバックシート ネオ

保証書付

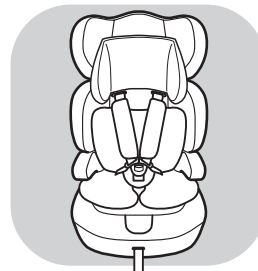
B-194 取扱説明書

ご使用前には安全のために必ずお読みください。

- ●本装置は「汎用」年少者用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、規則第44号の04改訂シリーズに基づいて認可されており、一部を除き大抵の車両に適合します。
- ●車両製造者の車両ハンドブックに当該車両がこの年齢層向けの「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると明記されていれば、本装置が正しく取り付けられます。
- ●本装置は、3点式巻取装置付座席ベルトを装備している座席にのみご使用できます。（2点式シートベルトの座席にはご使用できません。）
- ●ご不明な点は、お買い上げの販売店または、(株)シーエー産商までお問い合わせください。

本装置をご使用いただけるお子様の目安

チャイルド〈グループⅠ〉

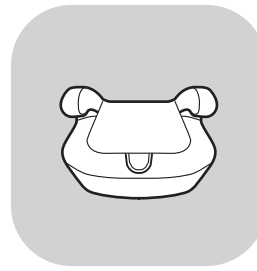
●適用体重
9kg以上18kg以下
●年齢の目安
1歳～4歳頃

車両のシートベルトで本装置を固定、本装置のベルトで、お子様を拘束します。

ジュニア〈グループⅡ〉

●適用体重
15kg以上25kg以下
●年齢の目安
3歳～7歳頃

本装置のベルトを取り外し、車両のシートベルトで、お子様を拘束します。

ジュニア〈グループⅡ,Ⅲ〉

●適用体重
15kg以上36kg以下
●年齢の目安
3歳～11歳頃

背もたれを取り外し、座のみにして、車両のシートベルトで、お子様を拘束します。

※「年齢の目安」は、あくまでも"目安"です。体重条件を満たしていないお子様は、ご使用になれません。
※車両の進行方向に対し、必ず前向きに取り付けてください。（横向きや後向きでは取り付けないでください。）

●本革シートの車両はシートが傷むおそれがありますので、そのまま取り付けないでください。取り付ける場合は、保護シート等を敷いてからお取り付けください。

ご使用にあたって

★ポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき本装置をご使用ください

⚠ 警告	⚠ 注意	補足
事故につながったり、生命の危険、重大な傷害のおそれがある事を記載しています。	安全のため、ご注意していただきたい事を記載しています。	より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたい事を記載しています。

⚠ 警告 〈取り付けできない座席〉

- **シートベルトが付いていない座席**
- **2点式シートベルトが付いている座席**
- **エアバッグが付いている座席**
- **チャイルドシートで運転に支障をきたす座席**
- **横向き、後ろ向きの座席**

取り付けできるシートベルト

〈ELR式シートベルト〉…緊急ロック式ベルト巻き取り装置付シートベルト
シートベルトをゆっくり引き出すと自由に出入りしますが、急に引き出したり急ブレーキ等のショックが加わるとロックするベルト。

〈AELR式シートベルト〉…チャイルドシート固定機能付シートベルト
シートベルトをすべて引き出した後で巻き戻すと、チャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなるベルト。（シートベルトをすべて巻き戻すと解除される）

〈NLR式シートベルト〉…非ロック機能式ベルト巻き取り装置
ロック機能がなく、シートベルトをすべて引き出して長さを調整するタイプ。

〈ALR式シートベルト〉…自動ロック式ベルト巻き取り機能
シートベルトを引き出す途中で止めると、ベルトが自動ロックされ引き出せなくなるタイプ。

〈マニュアル式シートベルト〉
巻き取り装置のない3点式シートベルト。

取り付けできないシートベルト

〈腰ベルトに付いたELR式シートベルト〉
腰ベルト側にELRが付いているシートベルト。

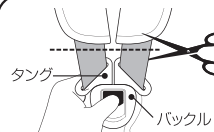
〈2点式シートベルト〉
肩ベルトがない腰ベルトのみのシートベルト。

〈パッシブシートベルト〉
前部座席に座りドアの開閉により、自動的に装着・解除されるタイプのシートベルト。

⚠ 警告

①本装置は取扱説明書通りに取り付けてください。
②車両のシートベルトや座席の種類・形状により、取扱説明書通りに取り付けできない場合は、他の座席に取り付けてください。
③本装置のベルトが緩んだ状態でご使用しないでください。ベルトに緩みがあると、首に巻き付き窒息するおそれがありますので、必ず正しい長さでご使用ください。
④お子様がバックルのボタンを押してベルトを外したり、ベルトから抜け出ないように、時々ロック部分の確認をしてください。
⑤車両のシートベルトや本装置のベルトを、傷つけないように注意してください。傷ついた場合、衝撃時に十分な効果が得られない場合がありますので、使用しないでください。
⑥衝突等により本装置が強い衝撃を受けた場合、破損の可能性がありますので使用しないでください。
⑦拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー・クッション・ベルト類・発泡材等を外して使用しないでください。
⑧お子様を本装置に乗せてセットする際、骨盤が腰ベルトで固定されるように低い位置で着用し、肩ベルトもお子様に合わせ、適切な位置で拘束されるようにしてください。
⑨走行中のお子様の乗せ降ろし（乗り降り）はしないでください。
⑩本装置を取り付け後、車両の座席の移動や調整をしないでください。固定が緩む可能性があります。
⑪本装置の部品やベルト等を鋭利なもので傷つけないでください。切れたり欠けたりしていると機能が正常に働かない場合があります。
⑫お子様を乗せたまま車両から離れないようにしてください。不慮の事故につながるおそれがあります。
⑬本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などで機能を損ねる原因になるおそれがあります。

⚠ 注意

①本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。
②本装置に日光が当たりますと、熱くなってお子様がやけどをするおそれがありますので、大人が金属部分・樹脂部分に触れて熱くなっていないかを確認してからご使用ください。
③お子様が転倒する危険がありますので、本装置の上で立ち上がったり、中腰にさせないようにしてください。
④本装置のバックルや可動部分に水やジュース等をかけないでください。部品の故障につながります。
⑤車両内に障害を与える可能性のあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がけがをするおそれがあり危険です。
⑥本装置にお子様を乗せない時でも、安全のため必ず車両のシートベルトで固定してください。衝突時や急ブレーキをかけた際、装置が移動してけがをするおそれがあります。
⑦本装置が車両の座席やドアに挟まれたりしないように注意してください。

〈緊急時のご対応について〉
緊急時は、慌てず速やかにお子様を救出してください。通常の操作が（赤いボタンを押して解除）できない場合は、本装置のベルトを、はさみ等で切ってお子様を降ろしてください。

各部の名称

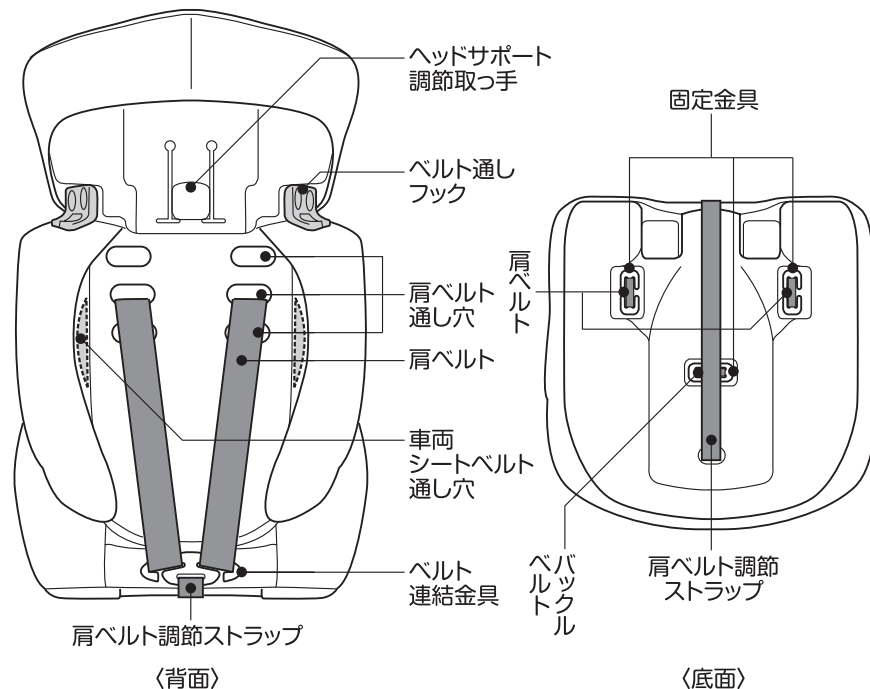
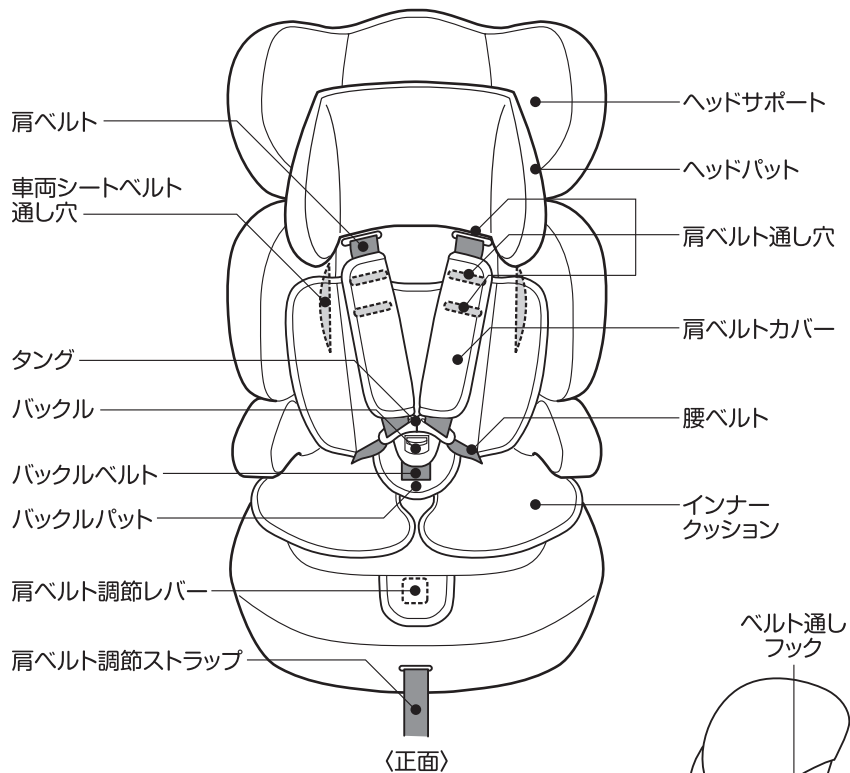
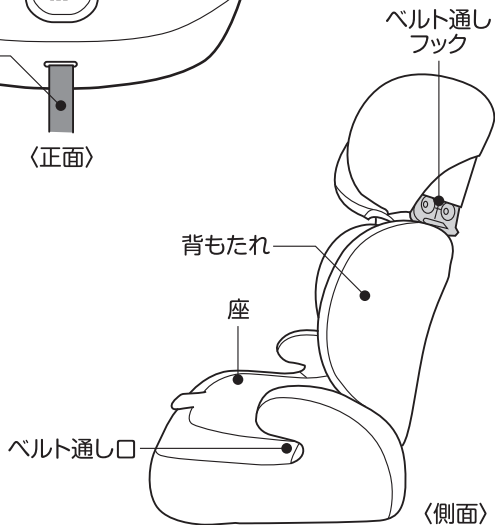
肩ベルト
車両シートベルト通し穴
タング
バックル
バックルベルト
バックルパット
肩ベルト調節レバー
肩ベルト調節ストラップ
ヘッドサポート
ヘッドパット
肩ベルト通し穴
肩ベルトカバー
腰ベルト
インナークッション

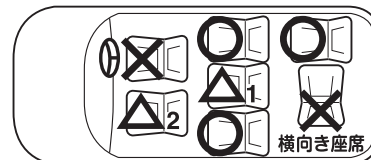
〈正面〉

取扱説明書
（保証書付）

ベビーFUNハーネス
ハイバックシート ネオ
保証書付
B-194 取扱説明書

ベルト通しフック
背もたれ
座
ベルト通し口

〈側面〉

車両取り付け可能箇所

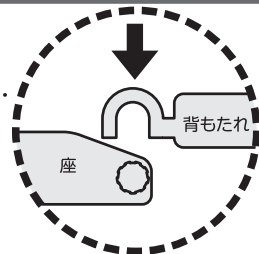
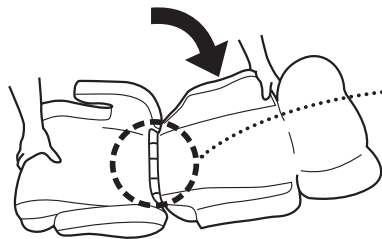
○ 取り付け可能
× 取り付け不可
△1 3点式シートベルトの場合取り付け可能
△2 座席は最後部に調整してください

●助手席にはエアバッグが装備されています。エアバッグの作動により大きな衝撃を受けるおそれがあるため、**後部座席への取り付け**をお薦めします。

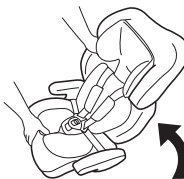
●進行方向に対し、**後向き・横向き**の座席には取り付けられません。事故の際、装置の機能が有効に発揮できません。

●**2点式シートベルト**の座席は、取り付けられません。

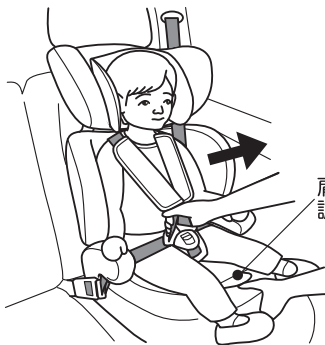
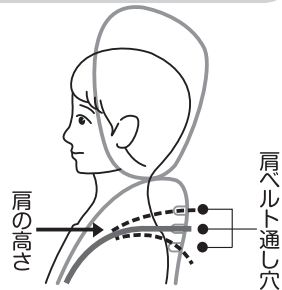
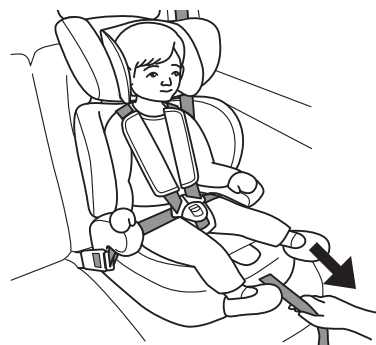
背もたれと座の取り付け

1 背もたれと座面を水平にして、背もたれのジョイント部分を座のジョイント部分に合わせて、上から押し込んで接続します。

※確実にはまっていることを確認してください。

2 背もたれと座をしっかり持ち、背もたれを引き上げます。

※持ち上げるときにスムーズに上がらない場合は、再度確実にはめ込んでから引き上げてください。
※無理に引き上げると、破損のおそれがあります。

肩ベルトの調節方法

肩ベルトがお子様の肩と同じか、少し高い位置にくる肩ベルト通し穴に、肩ベルトを通してください。

× 低い　○　× 高い

肩ベルト
調節レバー

緩め方 お子様を座らせ、肩ベルト調節レバーを押しながら、肩ベルトを手前に引くと肩ベルトは緩みます。

締め方 肩ベルト調節ストラップを手前に引っぱると、ベルトは締まります。

補足 調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指一本入る程度に調節してください。

バックル・タングの使用方法

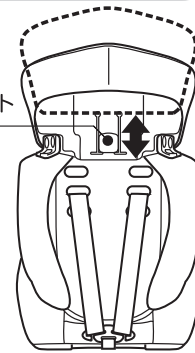
バックルボタン（赤い部分）を下に押して、タングをバックルから解除し、お子様が座れるようにタングを左右に開き、バックルを前に倒します。

注意 バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたことを確認してください。

お子様を座らせ、左右の肩に肩ベルトをかけ、タングを真ん中に合わせます。タングをバックルに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

ヘッドサポートの調節方法

ヘッドサポート調節取っ手を引いて上下にスライドさせ、お子様の頭の高さ（ヘッドサポートに頭が収まっている位置）に合わせてください。

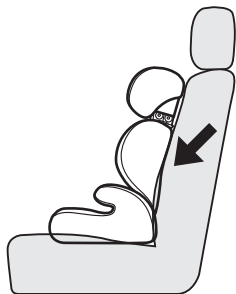
× 低い　○ 標準　× 高い

チャイルドシートとしての使い方

（グループⅠ）

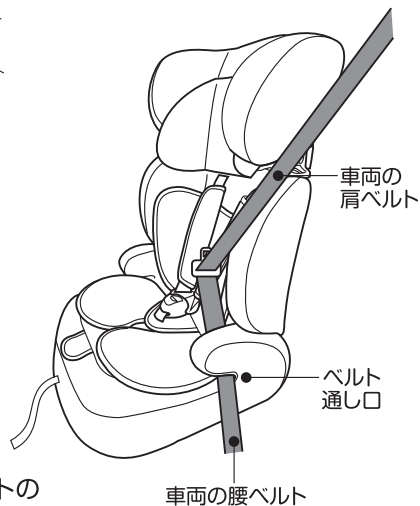
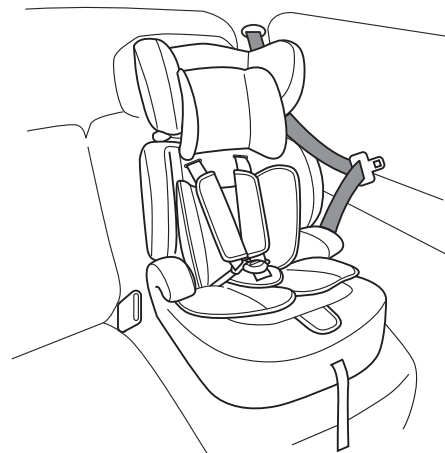
取り付け方…❶

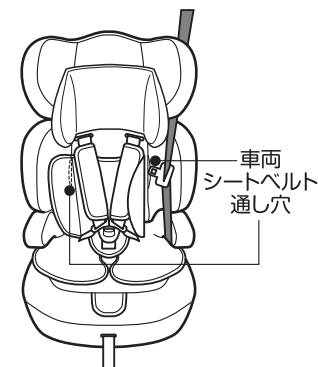
●適用体重：**9**kg以上**18**kg以下

1

チャイルドシートを車両の座席に置き、車両の背もたれとチャイルドシートの背もたれに、大きな隙間がなく接していることを確認してください。また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。

2

車両のシートベルトを引き出します。車両の腰ベルトは、下図のようにベルト通し口に通します。

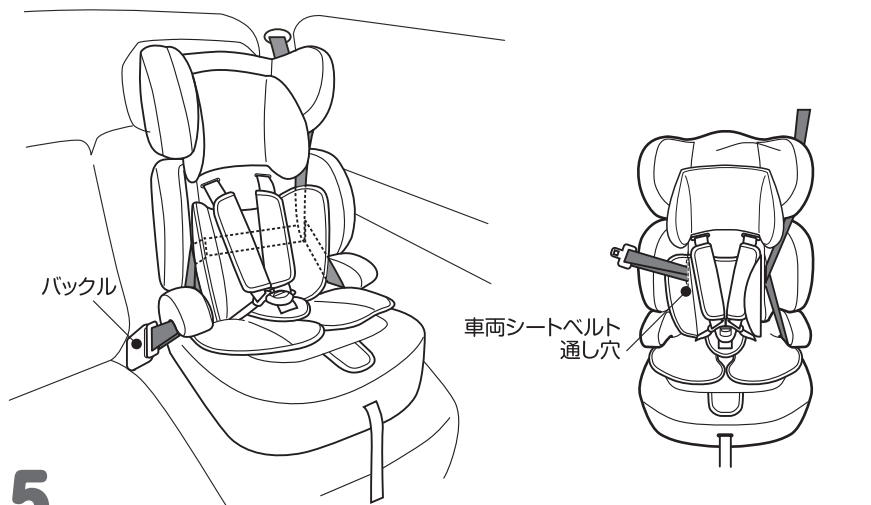
注意 車両の座席とチャイルドシートの背もたれに隙間が少なくなるように取り付けてください。

3

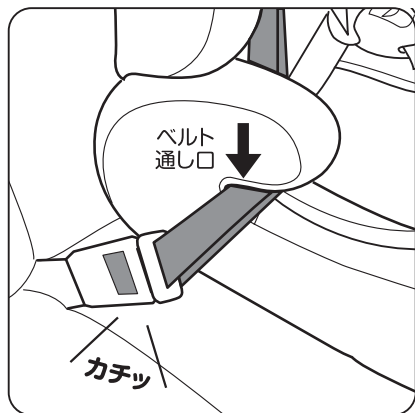
車両のシートベルトを、図のように背もたれの車両シートベルト通し穴に通します。

4

背もたれの車両シートベルト通し穴に通した車両のシートベルトを背もたれの背面に通し、反対側の車両シートベルト通し穴から表に引き出します。

車両
シートベルト
通し穴

取り付け方…❷

●適用体重：**9**kg以上**18**kg以下

5

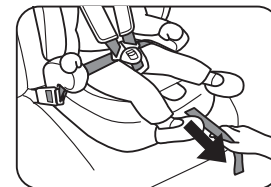
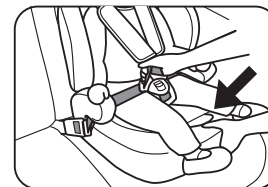
背もたれの車両シートベルト通し穴から引き出した車両のシートベルトを、ベルト通し口に通してから車両のバックルにセットします。
セットした際、「カチッ」と音がしたことを確認してください。

注意 車両のシートベルトは、必ずベルト通し口に通してからバックルにセットしてください。

6

お子様を座らせ、肩ベルトをバックルにセットします。肩ベルトはお子様の肩と肩ベルトの間に指一本入る程度に調節してください。

〈肩ベルトの調節〉（P5参照）

緩める

締める

セット後の確認

●肩ベルトが、お子様の首に掛かっていないこと。
●シートベルトにねじれがなく、お子様にフィットしていること。
●車両の腰ベルトがベルト通し口にしっかりと掛っていること。
●本装置のタングとバックルが、確実にセットされていること。

〈後席右側取り付けイメージ〉

〈後席左側取り付けイメージ〉

ジュニアシートとしての使い方
（グループⅡ）

ベルト・バックルの取り外し方

ベルト連結金具から肩ベルトを取り外します。

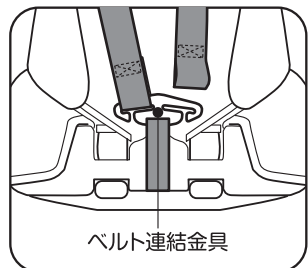
肩ベルト

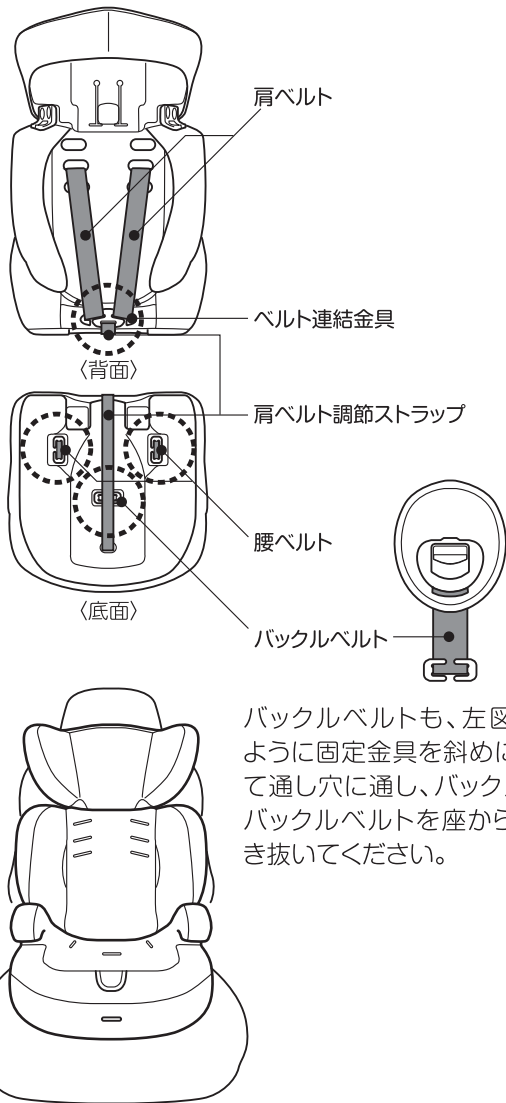
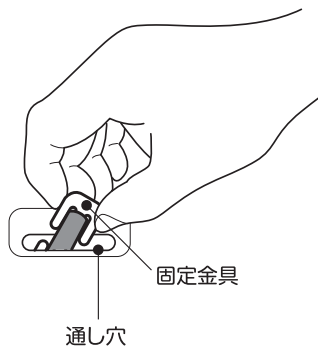
ベルト連結金具

〈背面〉

肩ベルト調節ストラップ

腰ベルト

〈底面〉

バックルベルト

底面にある固定金具・肩ベルトは、下図のように斜めにして通し穴に通します。
肩ベルトを本体から引き抜き、取り外します。

バックルベルトも、左図のように固定金具を斜めにして通し穴に通し、バックル・バックルベルトを座から引き抜いてください。

取り付け方 ●適用体重：15kg以上25kg以下

1

ジュニアシートを車両の座席に置き、車両の背もたれとジュニアシートの背もたれに大きな隙間がなく接していることを確認してください。
また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。

ベルトフック

2

お子様を深く座らせ、車両の肩ベルトをベルトフックに通し、お子様の首に掛からないように、ねじれがないように注意して通します。

車両の腰ベルトが左右のベルト通し口にしっかりと掛かり、お子様の腰骨の低い位置にくるようにしてください。
車両の腰ベルトが緩んでいる場合は車両の肩ベルトを引っ張り、確実にフィットするように装着してください。
車両のシートベルトのタングとバックルは確実にセットしてください。

〈後席左側取り付けイメージ〉

お子様の手や腕は車両のシートベルトより上にして、車両のシートベルトで挟まないように調節してください。

ジュニアシート(座のみ)としての使い方
（グループⅡ,Ⅲ）

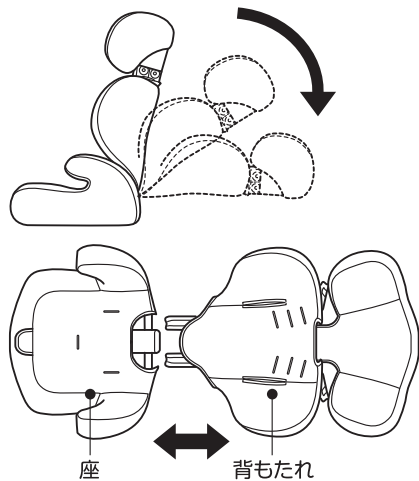
取り付け方 ●適用体重：15kg以上36kg以下

1

背もたれを倒し、座から背もたれを取り外します。

2

ジュニアシートを車両の座席に置き、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。
車両の座席の背もたれがリクライニングできる場合は、立てた状態で使用してください。
倒した状態で使用した場合、衝突時に車両のシートベルトの下からすり抜ける場合があり、たいへん危険です。
※安定しない場合は装着できません。

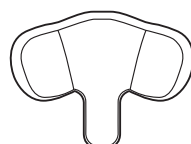
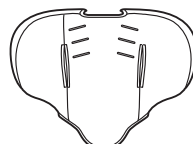
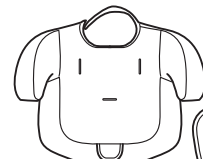
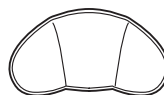
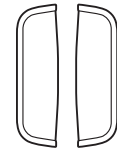
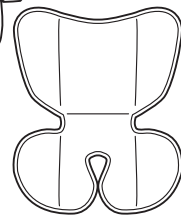
〈後席左側取り付けイメージ〉

3

お子様を深く座らせます。車両の腰ベルトは左右のベルト通し口にしっかりと掛かり、お子様の腰骨の低い位置にくるようにしてください。
また、車両の腰ベルトが緩んでいる場合は車両の肩ベルトを引っ張り、確実にフィットするように装着してください。
車両の肩ベルトは肩の位置にくるように調整して、タングとバックルをセットしてください。バックルは「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

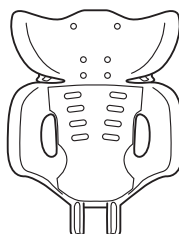
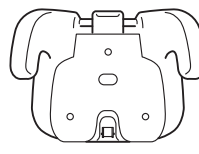
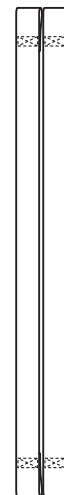
注意 車両の肩ベルトが、お子様の首に掛からないように注意してください。

各部のお手入れ

●カバー・パット・クッション

中性洗剤を使い、手洗いしてください。
塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。
風通しのよい日陰で干してください。
しっかり乾くまで使用しないでください。
アイロンがけはしないでください。

手洗い 30
ヘッドレストカバー　背カバー

ヘッドパット

クッション材　肩ベルトカバー

座カバー　インナークッション

●本体・バックル・ベルト・金具

乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
風通しのよい日陰で干してください。
しっかり乾くまで使用しないでください。

本体（背）　本体（座）　バックル バックルパット 固定金具

固定金具　肩ベルト　ベルト連結金具 肩ベルト調節ストラップ